【業務報告】

令和6年度農産研究センター　業務報告

山﨑　旬

1. 全施設の概要

山﨑　旬

令和6（2024）年度は，前年5月に新型コロナ対策が移行・緩和されたため，4年ぶりに1年を通して制限のない教育プログラムをすすめられる状況となった．コロナ禍対応の数年間で，失われたものも多くあったが，一方で得られたものもたしかにあった．オンラインによるコミュニケーションツールの一般普及は，その最たるものの一つであろう．学生は，自宅から大学の講義や面接を受けることが可能となった．しかしこれらのツールが万能というわけではなく，特に農学部の実験や実習をはじめ，実体験が必要な教育課程においては，オンライン授業が「現場体験」や「技術習得」の代替にならないことも改めて理解され，農産研究センターのような，さまざまな特化した機能をもつ施設の重要性も共有された．一方で，オンラインツールは，本学と遠隔施設（北海道・鹿児島農場）の情報的な隔たりを確実に縮める役割も果たしている．ちょっとした打合せを複数名で顔を合わせて実施できるようになり，また，これらの遠隔施設からの講義対応も可能となった．このような状況が，遠隔施設の農学部内での活用の幅を広げると共に他学部や併設校（K–12）の教育プログラムでの活用につながり始めているように感じている．また，学内農場や生産加工室の活用についても農学部各学科の実習が平常化すると共にK–12の活用も回復した1年という印象である．そうした中で，サイテックファームやアクア・アグリステーションについては，本学の特徴的な閉鎖型の生産施設として，先端食農学科の実習や卒業研究での活用がすすんでいる一方で，竣工より10年前後となり，今後の生産品目の検討や機器の経年劣化に伴う更新など課題が目立ち始めており，これらの検討もすすんでいる．ソフト面の取り組みとして特筆することとして，小原廣幸教授（前・農学部長・元センター長）が主導する形で「農産研究センターのVision」と銘打ち，農産研究センターおよび各施設の概要や教育・研究の方向性について明文化する作業を開始した．鹿児島，北海道含め，センタースタッフが1月に一回程度のペースでオンラインで一同に会して，センター全体や施設毎について，共同でSWOT分析を行い，特徴ある取り組みや改善事項等について話し合い，情報を共有して，文章を作り上げている．

このほか令和6（2024）年度のトピックとして，北海道弟子屈農場で平成21（2009）年度より弟子屈町と共に取り組んできたワイン用ブドウ（山ブドウ系品種）の試験栽培．ワイン醸造について大きな展開があった．弟子屈町が官民連携で立ち上げた屈斜路カルデラワイナリー（株式会社テシカガファーム）が8月に竣工し，令和6（2024）年度産のブドウから，同ワイナリーで醸造されることとなった（㊟これまでは農学部卒業生の経営する都内のワイナリーに弟子屈農場からブドウを輸送して，醸造・瓶詰めなどを委託し，製品検討をすすめてきた→販売は行っていない）．ワインの名称は，当初より冠されていた農場のある弟子屈町美留和地区を由来とする「Biruwine（ビルワイン）」を引き継ぐことになっている．ラベルデザインは，芸術学部の博多哲也先生に新たにお願いして令和7（2025）年度中の購買部販売を目指して引き続き進行中である．また，弟子屈農場のワイン用ブドウ栽培の取り組みについては，同農場の横倉啓技術指導員が令和6（2024）年10月1日に新潟大学で開催された関東・甲信越地域大学農場協議会・研究集会にて成果を発表し，最優秀発表賞を受賞した．この受賞については，発表要旨原稿の作成や，発表練習について弟子屈場担当の奥崎文子准教授が，町田のキャンパスからメールやオンラインツールを介して弟子屈農場の横倉先生に対して親切丁寧なアドバイスを送り続けたことが大きかったと感じている．

なお，奥崎文子先生は，令和7（2025）年1月29日に逝去されました．ここに改めて農産研究センター北海道弟子屈農場を担当していただいた奥崎先生への感謝とご冥福をお祈りしたいと思います．

奥崎先生，本当にありがとうございました．

2. 北海道弟子屈農場

横倉　啓，金子貴一，奥崎文子，飛田有史

【春セメスター】

①家畜管理

・ホルスタイン去勢雄4頭（令和5年度導入）：日常管

表1　農産研究センターで実施されている農学部実習科目（令和6/2024年度）

科目名	対象	必/選	実施時期	単位	受講者数	実施場所
生産農学科						
フィールド実習A	1年	必修	秋	2	124	学内農場
フィールド実習B	2年	選択	春	2	54	学内農場
フィールド実習C	3年	選択	集中	2	21	北海道農場または鹿児島農場
食品製造実習	3年（理P）	選択	秋	1	2	フードサイエンスホール
環境農学科						
農場実習A	1年	必修	春	1	40	学内農場，箱根自然観察林
農場実習B	1年	必修	秋	2	38	学内農場，箱根自然観察林
農場実習C	2年	必修	集中	2	35	北海道農場または鹿児島農場
先端食農学科						
フィールド総合実習A	1年	必修	春	2	67	学内農場
先端食農実習	2年	必修	春	2	87	フードサイエンスホール，FST Lab.，サイテックファーム，アクア・アグリステーション
食品加工実習	3年	選択	春	2	16	フードサイエンスホール
フィールド管理実習B	3年	選択	集中	2	4	北海道農場または鹿児島農場

理（朝夕給餌，牛舎掃除，その他管理作業）
・令和6年度 新規導入牛受け入れ 4頭導入（ホルスタイン去勢雄4頭）：5/21
・削蹄：6/23

②生産管理
・飼料作物（牧草）：刈り倒し，反転乾燥　7/29～8/4
・ソバ（委託）：播種
・養蜂（委託）：セイヨウミツバチ巣箱設置
・（美留和・屈斜路）7/19
・醸造用ブドウ
霜害対策　燃焼法実施
【試験圃場】栽培管理（山幸，清舞，小公子，ナイアガラ）：芽かき・誘引・脇芽除去，除草，ワイン用品種試験保育
【生産圃場】栽培管理（山幸）：芽かき，誘引，脇芽除去，除草

③施設管理・その他
・農場内：除雪，除雪後の管理地整地，石拾い，農場内除草
・牛舎：飼槽洗浄，消毒剤散布
・演習林：林道見回り，倒木等撤去作業，林道除草
・鹿柵：点検および補修作業
・河畔林木道：点検および補修作業，周辺除草
・大型農作業機・刈り払い機：点検整備および修繕作業

④K–12連携プログラム
・玉川学園延長教育プログラム（Extended School）
サマーキャンプ　7/23～7/27
Primary Division生徒16名
アカデミックサポートセンターES推進室：石川郁子，井上紗矢香，八木英輝
Primary Division引率教員：葛西宏志，入野美沙

⑤研究調査支援・その他
・農学研究科資源生物学専攻修士1年生4名：湿地における有機物分解について，屈斜路湖における湧水調査，ビルナイ川における倒流木が及ぼす影響について，アイヌ民族が利用していた有用植物の分布調査
・環境農学科4年生2名：ヒグマの生態調査，サカハチチョウ・アカマダラの食草調査
・イタヤカエデ（66L）・ハウチワカエデ（3L）樹液採集：4/15まで
・本学出張（金子）　4/8～13：学内実習参加，農場

会議出席

⑥主な来場者・施設管理業者
・電気保安協会：非常用発電機点検
・弟子屈プロパン：ガス給湯器点検
・太平ビルサービス：館内窓・床清掃
・丸高産業：浄化槽点検
・株式会社 フクオカ：家畜用飼料手配・納品
・Kubota:トラクター等整備
・甲陽建設：鹿柵点検・修理
・北海ハウス：木道修理等打合せ・D型ハウス改修工事
・FUJIゼロックス：印刷機修理
・トヨタモビリティ：公用車入れ替え打合せ
・オホーツク設備：消火器入れ替え・空調設備点検
・西松建設：空調設備点検
・TOTO：トイレ修理
・杉養蜂園：採蜜用巣箱設置・撤去
・Tikuson：削蹄

【夏期休暇】
①家畜管理
・ホルスタイン去勢雄4頭（令和5年度導入），ホルスタイン去勢雄4頭（令和6年度導入）：日常管理（朝夕給餌，牛舎掃除，その他管理作業）
・ホルスタイン去勢雄4頭（令和5年度導入）出荷 9/13：格付C-2×4頭

②生産管理
・飼料作物（牧草）：反転乾燥，集草，運搬
・ソバ（委託）：収穫（6.0俵×12袋）
・養蜂：採蜜
・醸造用ブドウ
【試験圃場】栽培管理：誘引，摘心，摘果，摘葉，脇芽除去，除草
【生産圃場】栽培管理：誘引，摘心，除草

③施設管理・その他
・農場内：除草
・演習林：林道見回り，林道除草
・河畔林木道：除草
・大型農作業機：点検整備
・屈斜路カルデラワイナリー竣工

④実習教育・合宿等
・環境農学科2年生『農場実習C』 学生19名 8/2～8/9
引率教員：南 佳典，高橋里緒
・生産農学科・先端食農学科3年生：『フィールド管理実習C』 学生7名 8/17～8/24
引率教員：吉村義隆，小泉昌子
・環境農学科2年生『農場実習C』 学生11名 9/2～9/6
引率教員：関川清広
・弟子屈町との包括連携協定事業
・弟子屈イングリッシュウィーク 学生6名 9/16～19
引率教員：工藤洋路
部活動
・フラワーデザイン部 学生10名 9/16～19
引率教員：上原 歩 Newnham Sally
ゼミ合宿
・大橋ゼミ 学生9名 9/9～12
引率教員：大橋敬子
・増田ゼミ 学生7名 9/9～13
引率教員：増田篤稔

⑤研究調査支援
・農学研究科資源生物学専攻修士1年生4名：湿地における有機物分解について，屈斜路湖における湧水調査，ビルナイ川における倒流木が及ぼす影響について，アイヌ民族が利用していた有用食物の分布調査，醸造用ブドウの調査
・環境農学科4年生2名：ヒグマの生態調査，サカハチチョウ・アカマダラの食草調査
・園芸班3年生2名：文化祭用ポスター作成のための情報収集

⑥主な来場者
・宮田電気：施設電気系統修理
・電気保安協会：非常用発電機点検
・弟子屈プロパン：ガス給湯器点検
・太平ビルサービス：館内窓・床清掃
・丸高産業：浄化槽点検
・株式会社 フクオカ：家畜用飼料手配・納品
・北海ハウス：倉庫の屋根修繕
・クリマテック：気象計点検
・摩周サイクリング協会：イベントに際しての校地利



令和６年度新規導入牛①



牛　削蹄①



醸造用ブドウの新芽②



醸造用ブドウ霜害対策（燃焼法）②



K-12サマーキャンプ　屈斜路湖での生きもの観察④



演習林内植生調査⑤

春セメスターの北海道弟子屈農場における業務の様子

各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す



ホルスタイン4頭の出荷（枝肉）①



牧草の集草作業②



環境農学科農場実習C　採蜜体験④



環境農学科農場実習C
メイプルシロップを利用した加工実習④



生産農学科・先端食農学科フィールド管理実習C
班別調査（乳脂肪分の違いのよる食味調査）④



生産農学科・先端食農学科フィールド管理実習C
屈斜路湖でのカヌー体験（オヤコツ地獄）④

夏季休暇の北海道弟子屈農場における業務の様子
各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

用についての打ち合わせ

【秋セメスター】

①家畜管理

・ホルスタイン去勢雄4頭（令和6年度導入）：日常管理（朝夕給餌，牛舎掃除，体重測定，その他管理作業）

②生産管理

・醸造用ブドウ

【試験圃場】防鳥獣ネット設置，糖度測定，収穫・出荷（10/17：山幸32kg　平均糖度21％，清舞12kg平均糖度17.3％），剪定，つる切り，誘引線解除，樹皮剥ぎ

【生産圃場】糖度測定，収穫・出荷（10/17：山幸188kg　平均糖度20.9％）→屈斜路カルデラワイナリーに醸造依頼，剪定，つる切り，誘引線解除

③施設管理

・農場内：除雪・排雪（初積雪：11/18），牛舎屋根雪降ろし
・演習林：見回り，立ち枯れ樹・倒木除去
・河畔林木道：木道補修，立ち枯れ樹・倒木・落ち葉除去
・農業機械・大型作業機械 等：刈り払い機・乗用刈り払い機収納，大型作業機械整備・格納，除雪機整備

④研究調査支援・その他

・農学研究科資源生物学専攻修士1年生4名：湿地における有機物分解について，屈斜路湖における湧水調査，ビルナイ川における倒流木が及ぼす影響について，アイヌ民族が利用していた有用植物の分布調査，醸造用ブドウの調査
・環境農学科4年生2名：ヒグマの生態調査，サカハチチョウ・アカマダラの食草調査
・出張（横倉　啓）　10/29～11/3：関東・甲信越地域大学農場協議会参加（新潟）
・本学出張（横倉）　11/18～22：学内実習参加，農場会議出席

⑤主な来場者

・電気保安協会：非常用発電機点検
・弟子屈プロパン：ガス給湯器点検
・太平ビルサービス：館内窓・床清掃
・丸高産業：浄化槽点検
・株式会社 フクオカ：家畜用飼料手配・納品
・Kubota：トラクター等整備
・摩周サイクリング協会：イベントに際しての校地貸し出し
・万代石油：ストーブ納品
・中央防災システム：消火設備点検
・北海産業：除雪用タイヤショベル納車

【春期休暇】

①家畜管理

・ホルスタイン去勢雄4頭（令和6年度導入）：日常管理（朝夕給餌，牛舎掃除，体重測定，その他管理作業）

②生産管理

・令和6年度産ワインの醸造状況及び販売に向けての屈斜路カルデラワイナリーとの打ち合わせ

③施設管理

・農場内：除雪・排雪，屋根雪降ろし

④実習

・『フィールドワーク』（US科目）　学生6名（農学部1名，芸術学部1名，文学部3名，教育学部1名）
2/24～2/28
引率教員：TAPセンター　村井伸二

⑤研究調査支援・その他

・演習林およびイタヤカエデ樹液採集

⑥弟子屈町との共同研究発表会

・『令和6年度　屈斜路湖周辺の生物調査及び魚類資源への影響等調査』報告会
出席者:浅田真一，南　佳典，吉川朋子，横倉　啓，金子貴一，院生4名，学部4年生2名
聴講者：環境省川湯事務所自然保護管理官・自然保護管理官補佐，弟子屈副町長，役場関係部署担当者，弟子屈町教育委員会，自然公園財団関係者，弟子屈エコまち推進協議会，町内在住自然ガイド業者　等

⑦主な来場者

・電気保安協会：非常用発電機点検



醸造用ブドウの収穫②



醸造用ブドウ除梗②



令和6年度産ワイン②



湿地における有機物分解調査④



関東・甲信越地域大学農場協議会参加（横倉　啓）④



関東・甲信越地域大学農場協議会　横倉　啓　発表賞受賞④

秋セメスターの北海道弟子屈農場における業務の様子

各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

・弟子屈プロパン：ガス給湯器点検
・太平ビルサービス：館内窓・床清掃
・丸高産業：浄化槽点検
・株式会社 フクオカ：家畜用飼料手配・納品
・今井林業：林・小班確認
・アメヤモーターサイクル：カエデの樹液採取用スノーモービル納車・返却
・北海産業：除雪用タイヤショベル返却
・生産管理：屈斜路カルデラワイナリーとの打ち合わせ
・USフィールド実習：スノーシューでの冬季演習林観察

【令和6年度　弟子屈農場総来場・利用者数】

・学生数	781名
・教職員数	180名
・卒業生	3名
・業者，その他	66名
・総数	961名＊

（＊令和5年度の約0.98倍）

【令和6年度　卒業研究論文課題（弟子屈町との共同研究も含む）】

農学部　環境農学学科

◎サカハチチョウとアカマダラの棲み分け：小川真斗之

◎北海道弟子屈町におけるヒグマおよび野生動物の環境利用―とくに弟子屈農場を中心として―：野坂美緒

【令和6年度　修士研究論文課題（弟子屈町との共同研究も含む）】

大学院　農学研究科　資源生物学専攻

◎アイヌ民族薬草利用植物の自生環境について：椙田さくら

◎倒流木の形態による有機物滞留の違いが底生動物相に及ぼす影響：本田真奈

◎屈斜路湖畔における産卵期のヒメマスの保全―産卵床形成に対する湧水の影響―：吉田有輝

◎生育環境が醸造用ブドウ‘山幸’の収量・品質に及ぼす影響について：和田岳人

【令和6年度職員】

技術指導員　横倉　啓
技術指導員　金子貴一
パート職員　中村恵津子
担当教員　　奥崎文子，飛田有史

3. 鹿児島南さつまキャンパス

清川一真，深澤元紀，上原　歩

【春セメスター】

①生産管理　―カンキツ―

・農薬散布：殺虫剤，殺菌剤
・苗木，幼木の管理作業：摘蕾・摘果作業，枯れ枝剪定
・施肥：堆肥施用
・雑草管理
・その他：タンカン，不知火，ポンカン苗の定植作業
・カンキツ樹の枝整理と摘果作業
・竹チップを幼木回りに施用

②生産管理　―熱帯果樹，その他作物―

・全般：鉢植え樹，ハウス内の潅水
・マンゴー：花吊りなどの管理作業，受粉用のミツバチ導入，スワルスキーカブリダニの放飼
・パッションフルーツ：剪定，誘引，施肥
・ヤムイモ，その他野菜：定植
・熱帯果樹類：播種，育苗，接ぎ木など
・ライチ：果実への袋かけ
・ウメ，スモモ，ビワなど：剪定
・アラゲキクラゲ（菌床栽培）：収穫，洗浄，乾燥処理
・シイタケ（原木栽培）：潅水装置，遮光ネットの設置

③施設管理・その他

久志農場

・園内の草刈り（刈払機，ハンマーナイフモア）
・除草剤散布
・雑木管理：伐採，チッパーシュレッダーを用いた粉砕
・圃場内の石拾い
・園内道路，ハウス周りの排水対策
・害獣対策：イノシシ捕獲及び精肉処理
・作業道路及び圃場整備

清原園

・タンカン屋根掛けハウス：被覆巻き上げ，給水設備補修



屈斜路カルデラワイナリーとの打ち合わせ②



フィールドワーク（US科目）
スノーシューでの冬季演習林観察④



フィールドワーク（US科目）
川湯ビジターセンター見学④



演習林でのイタヤカエデ樹液採取⑤



弟子屈町主催の研究発表会⑥



研究発表会　参加学生と指導教員一同⑥

春季休暇の北海道弟子屈農場における業務の様子
各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

・清原園簡易パイプ倉庫の建設
・作業道路補修・屋根掛けハウスからの排水対策
・農業用水貯水池の清掃・漏水補修

④研究・教育支援
・深澤技術指導員　坊津果樹部会講習会出席　4/5，5/22
・坊津学園小学校6年生8名　5/13，6/21，7/17：パッションフルーツの観察
・先端食農学科実習ガイダンス（zoom）5/17，5/21
・生産農学科　石崎孝之　4/22–24　7/1–3：キノコ栽培打ち合わせと原木調査
・森産業　6/6：キノコ栽培打ち合わせ
・環境農学科学生1名（引率：上原歩）6/7–10：タンカン調査
・指宿熱帯果樹研究会　7/12：農場見学
・MOA自然農法文化事業団　7/16：農場見学
・指宿熱帯果樹研究会　7/12：農場見学
・玉川学園高等部　7/29–31：南さつま市との交流事業のため晴耕塾に宿泊

⑤主な来訪者・施設管理支援
・管財課，地球工作所，ダイダン，よつもと工務店，川越電器商会など　5/28–29：清原園設備打ち合わせ
・川越電器商会　6/19：清原園ポンプ交換打ち合わせ
・森産業　7/2：シイタケ栽培現場視察
・西松建設，ダイダン　7/18：施設修繕打ち合わせ

【夏期休暇】
①生産管理　―カンキツ―
・農薬散布：殺菌剤，殺虫剤
・枯れ枝，夏枝の剪定：剪定枝をチッパーシュレッダーで粉砕，堆肥化
・幼木，苗木の管理：摘蕾，摘果，雑草防除，農薬散布
・害虫駆除：ゴマダラカミキリ幼虫を針金で刺殺
・台風対策：幼木の摘果，倒れた幼木を起こして盛り土，殺菌剤散布
・タンカン，不知火：潅水作業
・実験用カンキツ果実収穫発送
・イヌマキへ殺虫剤散布（キオビエダシャク）
・温州ミカン夜蛾対策ネット被覆

②生産管理　―熱帯果樹，その他作物―
・マンゴー，パッションフルーツ：管理作業，収穫，発送，剪定
・贈答用マンゴー：秘書課へ発送
・レイシ：袋かけ，収穫，発送
・パッションフルーツ：果実の冷凍処理
・ヤムイモ，野菜などの栽培管理
・熱帯果樹類：剪定，チッパーシュレッダーによる粉砕
・熱帯果樹類への施肥：液体肥料，酵素液，木酢液
・野菜圃場：耕うん，草取り
・レイシ：播種，実生苗作成
・パッションフルーツ：挿し木苗作成
・ホワイトサポテ：収穫，農学部へ発送40kg
・アラゲキクラゲ：遮光ネット，ミスト設置，収穫，収穫後乾燥処理
・原木シイタケ：原木支柱，散水装置，寒冷紗取り付け

③施設管理
久志農場
・潅水作業
・雑草管理：乗用モア，刈払機，ハンマーナイフモア
・除草剤の散布：サンフーロン，バスタ
・雑木管理：伐採，チッパーシュレッダーにより粉砕
・作業道路の草刈り　排水対応
・害獣対策：有害野生動物の駆除（罠による捕獲と追い払い）

清原園
・倉庫整理，収納棚設置
・農薬保管庫検査立ち合い

晴耕塾
・台風対策：ガラス保護ネット取り付け，ハウスバンドの補強，苗木，幼木の養生
・台風後の片づけ：被害にあったパイプ倉庫の撤去，ビニールハウス，倉庫の補修，破損した水道管の補修，停電発電機対応，発電機故障対応，施設・設備修繕対応，窓など外壁部分の洗浄
・風呂ボイラー故障対応
・外灯浸水対応



タンカン苗の植え付け作業（清原園）①



パッションフルーツ管理作業②



原木シイタケの調査④



ハウスパイプで簡易機械倉庫を建設（清原園）③



坊津学園小学校6年生パッションフルーツの観察④



K12，10–12年生による久志研修　レイシ果実の試食④

春セメスターの鹿児島南さつまキャンパスにおける業務の様子

各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す



贈答用として発送したマンゴー果実②



シイタケ原木栽培用支柱　散水装置の設置②



台風で破損した簡易パイプ倉庫（清原園）③



カンキツ樹に台風後の農薬散布①



坊津学園小学校６年生　パッショングミの試作④



生産農学科フィールド実習Ｃ　マンゴーの食味調査④

夏季休暇の鹿児島南さつまキャンパスにおける業務の様子

各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

④研究・教育支援
・環境農学科学生1名（引率：上原歩） 8/5–9：タンカン調査
・坊津学園小学校6年生8名 9/3：パッションフルーツグミの試作，マンゴーの食味調査
・生産農学科18名（引率：生産農学科 石崎孝之，原本悦和） 9/6–12：生産農学科フィールド実習C
・指宿熱帯果樹振興会12名 9/13：農場見学
・鹿児島大学農学部遠城先生，技術職員2名 9/13：農場見学，情報交換
・深澤技術指導員 坊津果樹部会出席 9/30

⑤主な来訪者，その他業務
・ダイダン，西松建設など 8/5–7：晴耕塾空調機メンテナンス，外壁塗装など
・管財課岩内さん 9/3–4：台風被害確認
・総務部小山部長 折戸TOC総研社長 久米島副町長，教育長ら 9/20：施設見学
・NTT 9/24：電話回線復旧作業
・栗原工業 9/26：電柱，電気修復打ち合わせ

【秋セメスター】
①生産管理 ―カンキツ―
・管理作業：枯れ枝・夏枝剪定，摘果，施肥
・台風被害からの復旧：台風後の剪定，修復作業など
・農薬散布：かいよう病，カイガラムシ，貯蔵病害対策（ポンカン，タンカン，不知火など）
・柑橘樹：老木伐採，チッパーシュレッダーで粉砕
・温州ミカン：夜蛾対策ネット被覆
・温州ミカン：収穫，選別，発送（販売用，加工用）
・タンカン：玉吊り作業，袋掛け（サンテ）
・不知火：ハウスビニール被覆，防蛾灯設置（夜蛾対策）
・不知火：収穫，発送

②生産管理 ―熱帯果樹・その他農作物―
・鉢植え樹：潅水，施肥
・マンゴー，熱帯果樹ハウス：農薬散布（カイガラムシ対策），マシン油，木酢液散布，魚粕液肥散布，ハウス内へ竹チップを施用，
・ライチ（レイシ）：剪定，チッパーシュレッダーで粉砕，環状剝皮
・熱帯果樹：剪定，チッパーシュレッダーで粉砕
・野菜圃場：耕うん，野菜類の播種
・原木シイタケ管理作業，菌床シイタケ置き場作成
・パッションフルーツ：剪定，苗づくり，土壌改良，苗の定植
・マンゴー：廃棄カンキツ果実を施用

③施設管理・その他作業
全体
・雑草管理：草刈り，除草剤散布
・雑木管理：伐採，チッパーシュレッダーで粉砕
・イヌマキの刈込作業，枝の焼却，粉砕
・機械整備，修理：チッパーシュレッダーなど
・野生鳥獣対策（イノシシ アナグマ カラスなど）
・作業道路の管理作業と清掃
・野菜栽培槽回りの防風ネット交換

久志農場
・害獣対策：イノシシ駆除，捕獲解体（教材用に冷凍処理）
・台風被害のあった犬用パドックの修理
・キノコ栽培施設：散水装置設置，棚の作成
・マンゴーハウス：台風被害にあった遮光ネット，循環扇の取り外し作業，資材片付け

清原園
・圃場整備，作業道路整備
・不知火圃場：電気柵設置，防風ネットの設置
・タンカン，不知火圃場：防鳥ネット設置
・農薬散布用定置配管パイプ補修
・倉庫雨漏り補修
・タンカン屋根掛けハウス：躯体，巻き上げパイプ，潅水装置の補修，スプリンクラー設置，ビニール被覆

④研究・教育支援
・石崎孝之 11/3–5：原木シイタケ調査のため滞在
・坊津学園中学校2年生14名 1/22–23：職場体験
・環境農学科実習ガイダンス 1/22
・深澤技術指導員 坊津果樹部会出席 1/31

⑤主な来場者とその他業務
・川越電器商会 10/3：マンゴーハウス電気補修
・九電工 10/3–4 マンゴーハウス電柱交換
・上原歩 10/4–5：台風被害視察，業務打ち合わせ
・栗原工業 10/16：発電機メンテナンス



タンカン果実の枝吊作業①



台風で落下した遮光ネット，循環扇の取り外し③



夜蛾被害によりカンキツ全般が壊滅的な被害を受けた①



清原園タンカンハウスのビニール被覆③



年末に実施された教職員研修　不知火の収穫⑤



坊津学園中学校２年生職場体験　ニワトリの解体④

秋セメスターの鹿児島南さつまキャンパスにおける業務の様子

各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

・能美防災　11/24：消防設備点検
・消火避難訓練　11/6：消防局坊津分遣所立ち合い
・女子栄養大学理事長，学長　11/11　施設見学
・小原理事長夫妻，座間理事，管財課楢本さん
11/14：　墓参，寺院訪問
・深澤元紀　95周年記念式典，業務打ち合わせのため東京出張　11/18–21
・西松建設　三純建設　11/2：国旗掲揚台近く地番沈下補修打ち合わせ
・サザンアグリ商会　12/11–16：ビニールハウス補修
・西松建設，ダイダン他　12/17–18：晴耕塾空調，ボイラー，外構など補修，メンテナンス
・教職員研修　12/25–27：カンキツ収穫体験など
・西松建設他　1/9–27：果実加工棟，機械作業棟サッシなど修理
・九州電力　1/9：電気メーター交換
・ホシザキ　1/20：冷凍機器点検

【春期休暇】

①生産管理　―カンキツ―
・タンカン，ポンカン，雑柑の剪定作業，枯れ枝剪定
・タンカン圃場：防鳥ネット取り付け，片付け
・タンカン：収穫，選果　（収量：4970kg）
・贈答用タンカン：選果，箱詰め，発送作業
・加工用タンカン，収穫，発送（加工室へ）
・タンカン：尿素葉面散布（収穫後の樹勢回復），農薬散布（殺虫剤，殺菌剤）
・タンカン，中晩柑など：苗木の鉢植え
・ポンカン老木：伐採，片付け
・堆肥散布（タンカン，不知火）

②生産管理　―熱帯果樹・その他作物―
・ハウス：潅水，雑草管理
・鉢植え樹：潅水，施肥
・パッションフルーツ（ハウス）：誘引作業
・野菜圃場：草取り，耕うん
・シイタケ原木：搬入，駒打ち，仮伏せ　散水装置設置
・シイタケ菌床：搬入，発生操作，収穫，乾燥処理
・マンゴー，熱帯果樹類：農薬，液肥，活力剤散布

③施設管理・その他作業
全般
・水槽掃除，水替え作業
・雑草管理
・機械整備，点検
・倉庫清掃，露地タンカン用果実保護袋洗浄，整理整頓
・雑木管理：伐採，片付け
・害獣対策：イノシシ，アナグマ，タヌキなど
・園内整備，石拾いなど
・小農具のメンテナンス
・伐採木の炭化（土壌改良資材として活用）

④研究・教育支援
・技術指導員　坊津果樹部会講習会出席　2/1
・水野宗衛　2/6–8：100周年記念誌作成の情報収集
・上原歩　2/6–12：業務打ち合わせ，卒業研究調査
・鹿児島大学農学部遠城先生，西澤先生　2/7：情報交換
・園芸班有志学生8名（引率：井上広大，金子貴一）2/10–17：タンカン収穫実習
・環境農学科実習18名　2/20–27（引率：上原歩，岡田芽生）農場実習
・山﨑旬　2/20–26：実習補助，学務課案内対応
・学務課　清水さん，宮原さん　2/24–26：現場視察
・教育学部教員7名　2/28：視察
・先端食農学科実習3年生16名（引率：吉村義隆，小泉昌子）3/2–8　農場実習
・浅田真一　3/2–4　卒業研究調査指導
・文学部教員8名　3/21：施設見学

⑤主な来訪者　その他業務
・日本空調サービス　2/28：晴耕塾風呂ボイラー修理
・西松建設他　3/上旬：清原園倉庫屋根，外壁補修
・ダイダン，日本空調サービス　3/10：晴耕塾風呂ボイラー修理
・西松建設　3/12：果実加工棟屋根修理
・川越電器商会　3/21：マンゴーハウス換気扇交換，洗濯機修理

【令和6年度　南さつまキャンパス総来場・利用者数】

学生数	437名
教職員数	99名
業者	203名
その他	105名
総数	844名



収穫時のタンカン果実①



園芸班有志学生によるタンカン収穫作業④



環境農学科農場実習Ｃ　シイタケの駒打ち④



先端食農学科フィールド管理実習Ｂ　菌床シイタケの収穫④



先端食農学科フィールド管理実習Ｂ
タンカン苗の鉢上げ作業④



タンカンの選果作業①

春季休暇の鹿児島南さつまキャンパスにおける業務の様子
各写真タイトルの右に付した数字は業務の項目番号を示す

【令和6年度　卒業研究・修士論文課題】

農学部　環境農学学科

・タンカン用台木カラタチ変異株のクローン増殖に関する研究―組織培養による清原1号（仮称）及びヒリュウの増殖の検討―：水野璃子

・玉川学園が保有する鹿児島県南さつまキャンパス清原園で栽培された柑橘類タンカン（Citrus tankan）の品質調査：森大地

【令和6年度職員】

技術指導員　清川一真
技術指導員　深澤元紀
パート職員　風間大地
パート職員　下山勝彦
パート職員　沼崎聖一
パート職員　清川満州男
担当教員　　上原歩

4. 学内農場

井上広大，島田温史，小原廣幸

【学内農場概要】

学内農場は，玉川学園内にあることから農産研究センターの各施設（全体）のハブとしての機能があり，農産研究センターの良さを学内外に発信している．玉川学園のキャンパス内にあることから農学部の全学科に加え，他学部およびK–12，教員，職員が利用しやすい環境にある．これらの活動を行うにあたっては，部署間で連携を図ることや教員間の綿密な事前打ち合わせが必要となる．学内には多方面に秀でた専門分野の教職員がおり，アドバイスが得られやすい利点と先生方との連携をとる下地が存在する．また，都心部にある学内農場は，学外組織や学外施設とも連携がしやすい．農学部公認団体の園芸班は，農作物の生産活動の管理補助に加え，各種イベントやK–12の対応など，学内農場の活動のサポートに従事しており，農作物の栽培をしながら学びを深め活動している．また，栽培した花卉は，学内の花壇やプランターに利用され学園の環境整備に貢献をしている．

【春セメスター】

①生産農学科2年生「フィールド実習B」 受講者数：55名

生産農学科の「フィールド実習B」では，全班共通のジャガイモと各班で果菜類を栽培している．各班に分かれて定植から日常管理，収穫まで一連の作業を行い，最後に収穫物の成果発表の場として品評会を行った．

・トマト，スイカなどの果菜類，トウモロコシ或いは豆類を栽培

・「刈り払い機安全衛生講習」（4/6，4/13）を受講

②環境農学科1年生 「農場実習A」 受講者数：40名

環境農学科の「農場実習A」では，1年間通してイネの栽培に取り組んでいる他，ミニトマトの栽培を通じて圃場周辺の動植物や取り巻く環境にも目を向け，調査や観察をしている．

・実習を通してミニトマトとイネを栽培

・実習圃場周辺の動植物を調査

・箱根自然観察林内の調査，観察

③先端食農学科1年生 「フィールド総合実習A」 受講者数：67名

先端食農学科の「フィールド総合実習A」では，実習を通じてミニトマトを栽培した．その他に班別実習を行い，基本的な農具や農業機械の使用方法を学んでいる．

・実習を通じてミニトマトを栽培，観察

・班別実習（班ごとに鎌，管理機，刈払い機，施設栽培について学ぶ）

④K–12との連携プログラム

幼稚部ではジャガイモの栽培体験を行った．Primary Division 1年生は，サクラ（カンザン）の採集の支援をした．また，Primary Division 2年生は1年を通じた「稲作の学習」でイネの播種，田遊び，田植えを行った．

・「ジャガイモの栽培，収穫体験」3/12, 6/13（幼稚部）

・「茶摘み」5/21（幼稚部） 34名

・「サクラ（カンザン）の採集」4/10（Primary Division 1年生）

・「稲作の学習の打ち合わせ」4/9（Primary Division 2年生）

・「イネの播種」4/22（Primary Division 2年生）

・「田遊び」5/1（Primary Division 2年生）

・「田植え」5/24（Primary Division 2年生）

⑤園芸班の活動

園芸班では，春休みの期間に定植したジャガイモの収穫や昨年11月に定植したタマネギの収穫，エダマメなどの果菜類の栽培を行った．また，春用の花壇苗（ニチニチソウ，マリーゴールド等）の栽培を行い，大グラウンドに定植も行った．



ナスの定植　（春セメ①）



野菜の品評会（春セメ①）



田植え（春セメ②）



管理機の使用（春セメ③）



田植え体験（春セメ④）



花の定植（春セメ⑤）

学内農場における業務の様子

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

・エダマメの播種，管理，収穫
・タマネギの収穫，仕分け，吊り干し
・モルトプランターに花壇苗を定植
・オープンキャンパス用の花苗作り
・茶摘み，紅茶作り　7/11

⑥その他，生産・施設管理

春セメスターでは，施設内管理として草刈機や除草剤を使用した圃場周辺の整備，他学部の授業支援，全国大学附属農場協議会へ参加した．

・施設内：草刈り機での管理，除草剤散布
・農産研究センター会議　4/11　大学6号館301AB
・「保育内容総論」泥だんご作り　5/8　3～6限
　教育学部乳幼児発達学科　大豆生田啓友
　他学生計83名
・全国大学附属農場協議会春季全国協議会5/15
　開催場所：オンライン開催
　出席者:浅田真一，山﨑旬，島田温史，奥崎文子，上原歩，宮原菜穂子
・ラジコン草刈り機，スイング式草刈り機の納品　5/17
・プレハブ冷蔵庫ユニット交換　5/28

【夏期休暇】

①園芸班の活動

春セメスターに播種し，鉢上げして準備した花苗をオープンキャンパスで配布した．収穫祭に向けて根菜類の畑作りや播種，管理作業を行った．

・オープンキャンパスで花の配布　7/21
・収穫祭に向けたダイコン，カブなどの秋野菜の播種
・秋～冬，来春用の花壇用苗の播種，鉢上げ
・草刈り（第3農場）

②その他，生産・施設管理

夏季休暇中は，施設内管理として草刈機や除草剤を使用した圃場周辺の管理作業を行った．また，日本農業技術検定試験の支援業務や関東・甲信越地域大学農場協議会へ参加した．

・施設内：草刈り管理，除草剤散布
・日本農業技術検定　学内団体受検支援　7/6
　運営：山﨑旬，飛田有支，井上広大
　受験者：3級　7名，2級　24名
・教育学部　大豆生田啓友ゼミ　ブルーベリーの収穫支援　7/17
・令和6年度関東・甲信越地域大学農場協議会技術研修会　9/5，9/6
　開催校：東京農業大学
　出席者：山﨑旬，島田温史
・令和6年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会および教育研究集会シンポジウム　9/12，9/13
　開催校：山梨大学　出席者：浅田真一，山﨑旬，島田温史，井上広大

【秋セメスター】

①生産農学科1年生 「フィールド実習A」 受講者数：124名

生産農学科の「フィールド実習A」では，カブ，ダイコンなどの根菜類やコマツナ，ホウレンソウなどの葉菜類を班ごとに栽培した．1年生の初めての実習となることから栽培している作物の調査方法や農機具の使用方法など基礎的な技術を学んでいく．

・カブ，ダイコンなどの根菜類，コマツナ，ホウレンソウなどの葉菜類の栽培
・農具や耕耘機の使用方法の習得

②環境農学科1年「農場実習B」受講者数：39名

環境農学科の「農場実習B」では，露地とプランターでダイコンを栽培し，生育環境の違いを比較した．春セメスターから続く，イネの栽培では稲刈りや脱穀，精米まで行い，各自食味調査も実施した．

・露地とプランターでダイコンを栽培
・「農場実習A」から続くイネの栽培（稲刈り，脱穀，精米）
・「刈払い機安全衛生講習会」（9/20）を受講
・箱根自然観察林内での環境調査実習

③K-12との連携プログラム

幼稚部ではダイコンの収穫体験やキウイフルーツの収穫体験を行った．Primary Division 2年生は，春セメスターから引き続き「稲作の学習」で稲刈りや脱穀，籾すり，精米を行った．その他，K-12に対しての支援業務を行った．

・「稲作の学習」の打ち合わせ　9/26
・「稲刈り」10/18（Primary Division 2年生）
・「脱穀，籾すり，精米」11/22（Primary Division 2年生）
・「ダイコンの栽培体験」（幼稚部）11/26
・幼稚部の年少から年長までの全員でダイコンの播種



オープンキャンパスにて花の配布（夏季休暇①）



培養土作り（秋セメ①）



イネの結束（秋セメ②）



道普請（秋セメ②）



稲刈り体験（秋セメ③）



キウイフルーツの収穫体験（秋セメ③）

学内農場における業務の様子

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す



収穫祭でのカボチャの展示　（秋セメ④）



収穫祭　園芸班の模擬店（秋セメ④）



タンカン収穫研修　タンカンの収穫（春期休暇①）



タンカン収穫研修　タンカンの選果　（春期休暇①）



タンカンガチャ　本部棟（春期休暇①）

学内農場における業務の様子

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

と収穫を体験（幼稚部の先生，父母による補助）
・「キウイフルーツの収穫体験」（幼稚部）12/9
幼稚部の年少から年長までの全員でキウイフルーツの収穫体験（幼稚部の先生，農場教職員，大学生による補助）

④園芸班の活動

収穫祭に向けた野菜の日常管理や収穫，調整などを行った．収穫祭に向けて展示物も作成し，今年度はカボチャをテーマとした展示を行った．また，秋・冬用の花壇苗の栽培も並行して行った．

・収穫祭に向けた野菜の栽培，収穫，調整
・収穫祭に向けた展示物の作成
・収穫祭の開催（11/9，11/10）
・野菜販売，6号館にて展示　模擬店大賞・展示大賞第1位受賞
・学内の花壇へ花苗の定植

⑤その他，生産・施設管理

秋セメスターは，教育学部の学習支援や日本農業技術検定の支援，町田市の中学生による職場体験受け入れ業務を行った．

・教育学部　生涯学習ゼミ　中村香　3年生，4年生
・秋野菜の栽培　9月中旬～ 12月中旬
・教育学部　市川直子　3年生，4年生
・秋野菜の栽培　9月中旬～ 12月中旬
・農産研究センター会議　11/19　大学6号館201AB
・日本農業技術検定　学内団体受験支援　12/7
・運営：山﨑旬，小原廣幸，飛田有支，島田温史
・1級受検者　5名　2級受検者　32名　3級受験者8名
・町田市立南中学校の職場体験受け入れ　1/24　4名受け入れ
・温室のガラスクリーニング　2/25 ～ 3/19

【春期休暇】

①その他，生産・施設管理

春期休暇は，学生アルバイトとハウス内や農具の片付け，整理を行った．また，鹿児島南さつまキャンパスのタンカン収穫研修を行った．次年度の実習に向けてプラウやロータリーで圃場の準備を行った．

・施設内:次年度の圃場の準備（プラウ，ロータリー）
・次年度の実習に向けた苗作り（ナス，トマト，ピーマン，メロン，スイカ，ズッキーニ）
・農具の整理，整備他（学生アルバイト）
・タンカン収穫研修　2/10 ～ 2/17　鹿児島南さつまキャンパス久志農場・清原園　引率者：井上広大，金子貴一　学生8名
・タンカン販売　小田急百貨店（九州屋）　新宿店，町田店　2/23
・タンカンガチャ　試運転（6号館）　2/24 ～ 2/28
出張ガチャ（本部棟，教育棟，卒業式教育棟4Fホール）3/5，3/6，3/13
・小型車両系建設機械特別教育講習会
3/12，3/13　学内農場
・日本熱帯農業学会支援　ELF棟　3/17 ～ 3/19

【令和6年度職員】

技術指導員　井上広大
技術指導員　島田温史
担当教員　　小原廣幸

5. 箱根自然観察林

飛田有支

【春セメスター】

・環境農学科4年（4月12日）
引率教員1名：關　義和
学生1名
活動目的：林道および林内の調査活動
活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

・環境農学科1年，再履修者（4月20日）
引率教員7名：南　佳典，山﨑　旬，關　義和，友常満利，島田温史，岡田芽衣，小原廣幸
学生41名　合計数48名
活動目的：農場実習Aおよび農業と自然環境，校外実習
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地
各エリアを移動しながら，異なる地形，場所による違いに着目しながら植物観察を行った．

・環境農学科3,4年（4月27日）
引率教員4名：小原廣幸，山﨑　旬，上原　歩，高橋里世，石川晃士
学生32名　合計数5名
活動目的：道普請
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地



農場実習Ａ　活動内容の説明



農場実習Ａ　林内探索



農場実習Ａ　植物調査



農場実習Ａ　伐採作業

箱根自然観察林における実習の様子

各エリアを移動しながら，道の整備として，通行を妨げる草木や石などの除去，踏み固めを行い，通路を確保した．

・農学部・芸術・経営学部1–4年（5月11日）
引率教員4名:環境農学科･南　佳典，高橋里世，アートデザイン学科・村山にな，リー，ジョナサン，F
学生12名　合計数16名
活動目的：複合領域研究　校外実習
活動エリア:須雲塾，椿沢，わさび田，ツリータワー跡地
フィールド探索を行った．

・環境農学科2年（6月8日）
引率教員3名：南　佳典，高橋里世，岡田芽衣
学生38名　合計数41名
活動目的：環境農学実験　校外実習，
活動エリア:須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地，ヒノキ林斜面地
植林地内のコドラートタイプの方法10×10mにおける樹木の密度，大きさ等の調査を行った．

・環境農学科4年（5月31日）
引率教員1名：關　義和
学生2名　合計数3名
活動目的：林道および林内の調査活動

活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

・農学部教員，総務部職員（6月7日）
教員2名：山﨑　旬，小原廣幸
職員4名　合計数6名
活動目的：須雲塾および自然観察林内の農学部・総務部合同視察
活動エリア：須雲塾，白銀道，椿沢道，宮増坂，弁天道，ツリータワー跡地，旧中学部広場

・環境農学科4年（6月7日）
引率教員1名：關　義和
学生2名　合計数3名
活動目的：林道および林内の調査活動
活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

・環境農学科教員（7月6日）
教員1名：上原　歩
合計数1名
活動目的：植物観察
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地

・環境農学科4年（7月26日）
引率教員1名：關　義和
学生3名　合計数4名
活動目的：林道および林内の調査活動
活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

・環境農学科教員（9月9日）
教員1名：山﨑　旬
合計数1名
活動目的：台風10号に伴う大雨の影響調査と
職員研修（9/17）のための現地視察
活動エリア:須雲塾，わさび田，椿沢道，白銀道（ヒノキ造林地），須雲道，中学部広場，尾根道（ツリータワー跡地）

・農学部教員，教学部職員，総務部職員（9月17日）
教員4名：山﨑　旬，南　佳典，小原廣幸，飛田有支
職員15名　合計数19名
活動目的：箱根自然観察林剥皮間伐を通じた自然環境
体験の実施のため
活動エリア:須雲塾，わさび田，椿沢道，白銀道（ヒノキ造林地），須雲道，中学部広場

・環境農学科4年（9月18日）
引率教員1名：關　義和
学生2名　合計数3名
活動目的：林道および林内の調査活動
活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

【秋セメスター】

・環境農学科2年（9月28日）
引率教員2名：南　佳典，岡田芽衣
学生12名　合計数14名
活動目的：環境農学実験，立木密度
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリーハウス跡地

・環境農学科3年（10月26日）
引率教員4名：山﨑　旬，小原廣幸，上原　歩，高橋里世
学生19名，合計数23名
活動目的：林道整備
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリーハウス跡地
道の整備を行った.

・環境農学科1年，4年（10月30日）
引率教員6名：小原廣幸，関川清広，石川晃士，上原　歩，井上広大，岡田芽衣
学生39名　合計数45名
活動目的：農場実習B，農場実習Ⅱ
活動エリア:須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地，
各エリアを移動し，秋の植物の状況を観察し，特に春に観察した状況との違いに着目してフィールド探索を行った.

・環境農学科4年（11月19日）
引率教員1名：關　義和
学生3名　合計数4名
活動目的：林道および林内の調査活動
活動エリア：妙高道，ツリータワー跡地，文学部広場

・環境農学科教員（11月26日）
教員1名：南　佳典
合計数1名
活動目的：授業サンプルの採集
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地

・環境農学科3年，農学研究科1年（12月7日）
引率教員1名：南　佳典
学生4名　合計数5名
活動目的：ゼミの研修
活動エリア：須雲塾，わさび田，ツリータワー跡地

【令和6年度職員】
担当教員　　飛田有支

6. 生産加工室（フードサイエンスホール）

勝又美紀，市村晴美，冨田信一

【春セメスター】
①先端食農学科「先端食農実習」火曜日および金曜日5～8限
・食品を扱う施設および食品工場を見立てた実習が含まれているため，食品衛生の学修を重視し，コロナ感染防止対策として行っていた表2のことを含めて継続して実施した.
・授業の目的「食品加工を通して食材の特性や機能性ならびに食品衛生を体験的に学ぶ」に到達するために昨年の内容で引き続き行った.
・実習は閉鎖型農業と食品分析，外部講師の担当回で構成されるため，食品加工分野は3回を6ローテーションで実施した．内容は昨年度同様表3のように果実（瓶詰，ジャム），豆類（豆乳，おから，充填豆腐），乳製品（アイスクリーム類）を扱い，各種測定も実施した.
・今年ドもグループでの検討や発表にはロイロノートスクール（以下ロイロノート）を活用した.
・先端食農実習は先端食農学科の必修授業であり，1グループ3～4名，4班で構成し，これまで同様に実施した．講義テーブルと作業テーブルは班ごと互い違いして密集しないように配置した.
・官能評価の時は評価にも影響が出ることもあり，飲食時には会話は控えさせた.

②教育学部，その他部門の管理
・教育学部も使用する共有施設であり，コロナも収束しつつあるため，使用する科目が増加した．例えば，乳幼児発達学科の実習およびゼミの実習，教育学科家庭科（調理実習）科目である.
・使用方法や施設環境は，農学部と同様の対応で実施した.
・乳幼児発達学科鈴木先生ゼミ　6/27，7/11，7/18
・教育学科土屋先生　6/5，7/3

③卒業研究サポート
・食品加工を伴う研究を希望する学生に対して，施設設備を提供した.
・食品に関する様々な測定や分析のために，生産加工室にある分析機器を使用した.
・食品加工に関わる卒業研究（5タイトル）についてサポート

④学園産農作物の使用の検討
農学部には学内農場，南さつまキャンパス，弟子屈農場があり，それぞれの環境や研究に沿った管理を行っている．その中の収穫物について一次処理および加工による利用を検討した.
・学内農場産
カカオの発酵
バナナの加工検討
トマトのセミドライ活用
バニラの発酵後の製品への添加
ヤマモモ，ブルーベリー，ビワの収穫および一次処理と加工
バジルの一次処理および加工
・南さつまキャンパス産
タンカン果皮乾燥処理と菓子利用
タンカンの栄養分析，柑橘数種類の香気成分分析
ライチの一次処理およびプリン加工

⑤食品加工班
2021年から休班していた農学部の公認団体「生産加工班」であるが，コロナ収束や教職員の充足から「食品加工班」に名称を改め再始動した.
・3年生4名（先端食農学科，生産農学科），2年生3名（先端食農学科），1年生2名（先端食農学科）が入班した.
・2，3年生募集（5月）⇒体験⇒活動開始（6月）
・2年生テーマ：うどん，メープル
・3年生テーマ:グミ，ラムネ，カカオからチョコレー

ト
・1年生募集（6月）⇒体験⇒活動開始（8月）
・④の収穫物の一部は食品加工班と共に一次処理および加工検討を行った.

⑥購買部
加工品に関する商品の監修を担当している．購買部と連携を組んで取り組んでいる.
・販売製品に関する監修（適宜）
・リニューアル製品の監修（適宜）
・新商品に関する監修（適宜）
・商品企画への監修とサポート

⑦K-12
学内連携にて食品加工に関する依頼に対して対応した.
・高等部SSH「理数探究」授業依頼と打ち合わせ
・Primary1年生「総合学習」3クラス各テーマでの打ち合わせ
・Primayr2年生「総合学習」お米での打ち合わせ
・Primary4年生「総合的学習」さつまいもでの打ち合わせ
・Primary1年生学内の梅収穫を梅ジュースにするサポート

⑧女子駅伝チーム
・夕食提供のためチームと学食委託会社と打ち合わせおよび夕食確認（春学期の毎月）
・栄養セミナー1，2年生（2回に分けて）実施

⑨その他
・電解水製造装置のオーバーホール　5/27
・害虫獣駆除作業（1回目/年2回）　6/17
・消火訓練
・水質検査　7/16
・農産研究センター会議　4/10，4/17，5/29，6/17
・救命講習会　6/27
・環境整備（施設内清掃，施設外周と花壇の整備）適宜
・施設環境整備　適宜

表2　フードサイエンスホールでの実習環境整備

・自動体温測定器の設置
・アルコール消毒スタンドの設置
・次亜塩素酸空気除菌脱臭機の設置
・CO_2濃度測定機の設置
・換気扇での常時換気
・テーブル，イス，サンダルの消毒
・使用器具の収納ワゴンの設置

表3　先端食農実習での食品加工分野の実習内容

分類	素材	製品	キーワード
果実類	キウイフルーツ	ジャム	ゲル化剤 瓶詰
豆類	大豆	豆乳 おから 充填豆腐	副産物 タンパク質変性
乳製品	牛乳 生クリーム	アイスクリーム	アイスクリーム類の分類

【夏期休暇】
①先端食農学科「食品加工実習（集中・夏)」
・食品を扱う施設および食品工場を見立てた実習が含まれているため，食品衛生の学修を重視し，コロナ感染防止対策として行っていた表2のことを含めて継続して実施した.
・昨年同様1テーブル4名で対応した.
・実習内容は表4の通りであり，各種測定なども実施した.
・班での検討や発表にはロイロノートを活用した.

②環境農学科「農場実習C」食品加工実習
・弟子屈農場にて食品加工の実習(半日)を実施した.
・実習内容は食品衛生と手順の講義
・作業は弟子屈農場で採取した「カエデ樹液」を利用したメープル製造とそれを掛けて食べられるワッフルの実習をした.
・ワッフルに使用した小麦粉は弟子屈農場産の摩周粉を使用し，地産地消の学修を考慮した.
・普段，加工に携わらない学生たちのため，学びの場となっていると思う.

③卒業研究サポート
・食品加工に関わる卒業研究（5タイトル）についてサポート



先端食農実習（2年生）①



卒業研究での施設利用③



食品加工班（旧：生産加工班）再開⑤



女子駅伝チーム　栄養セミナー⑧

春セメスター業務の様子（生産加工室）

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

④学園産農作物の加工方法の検討

・学内産農産物の一次処理はなかった
・南さつまキャンパス産
　マンゴー，パッションフルーツ等の一次処理および加工
・弟子屈農場産
　山ぶどうの昨年度仕込みワイン（Biruwine）の瓶詰作業（東京ワイナリー）9/1
・Biruwineのラベル印刷作業
・今年度の弟子屈農場の山ぶどうの調整

⑤食品加工班

・各テーマに沿った活動を行った.
・3年生はグミ，ラムネ，学内産カカオからチョコレート
・2年生はうどん，弟子屈農場産カエデ樹液からメープルシロップ
・1年生は技術の取得もあり，学内外産収穫物にて一次処理および加工品を製造した.
・学内産のブルーベリー収穫
・中沢乳業株式会社湘南工場の工場見学　9/12
・女子駅伝チームの夕食づくり　9/9
・④の収穫物の一部は食品加工班と共に一次処理および加工検討を行った.



先端食農学科食品加工実習（集中）①



環境農学科農場実習C「食品加工」実習②



K-12関連（高等部）「理数探求」⑧



女子駅伝チーム食事提供（食品加工班と製造）⑦

夏期休暇の業務の様子（生産加工室）

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

⑥購買部

・販売製品に関する監修（適宜）
・リニューアル製品の監修（適宜）
・新商品に関する監修（適宜）
・商品企画への監修とサポート

⑦女子駅伝チーム

・夏合宿のサポートはなく，事前に栄養補給を支給およびアドバイスした.
・スポーツ栄養学会　参加　9/21
・学食が休みの1日だけ生産加工室で食事提供　9/9
・9月の学食での夕食提供のチームと食堂の調整

⑧K-12

・高等部SSH「理数探究」食品加工（キウイフルーツジャムのペクチン有無比較）3回　9/6，9，13実施

⑨その他

・今後の実習内容の検討（試作中心）
・オープンキャンパス　フードサイエンスホール見学対応　8/4
・電気点検　8/25
・日本栄養士大会オンライン視聴　（期間内）
・害虫獣駆除作業（2回目/年2回）9/11
・施設外環境整備（適宜）
・施設内大掃除（適宜）

表4　食品加工実習（集中・夏）での実習内容

分類	素材	製品	キーワード
旨味	昆布, 鰹節, 煮干, 干し椎茸	だし	アミノ酸 旨味
畜肉	豚肉	フライシュケーゼ	食品添加物 タンパク質変性
食品添加物	調査発表	—	食品添加物調査
ゲル化剤	ゼラチン, 寒天, アガー	ゼリー	凝固
乳製品	牛乳 生クリーム	アイスクリーム	大量製造
乳製品	牛乳	カッテージチーズ	等電点沈殿 凝固
穀類	中力粉 強力粉	うどん ラーメン	グルテン かん水
卵	鶏卵	メレンゲ マヨネーズ プリン	起泡 乳化 凝固
外部講師	—	—	食品会社の仕事内容

【秋セメスター】

①生産農学科理科教員養成プログラム（理プロ）「食品製造実習」火曜日3，4限

・他の食品加工実習同様の施設整備（表2）にて対面で実施した.

・実習時間が短いため，1つの加工品を理論講義＋調査と製造実習を1セットにして2週で行うスケジュールを引き続き設定した.

・教員志望の学生のため，将来，給食や学園祭などで食品に関わるため，食品衛生・食品の安全管理も学修できるような授業内容とした.

・授業内容は表5の通りであり，各種測定なども実施した.

・全国の小・中・高校や塾などの教育関連機関で導入されているクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」をまとめや発表に昨年同様に使用し，アプリ操作を習得した.

②教育学部管理

・教育学部乳幼児発達学科の授業の中の演習部分はコロナ前どおり施設使用方法で対面にて実施した.

・他の実習同様の施設整備（表2）で授業に対応してもらった.

・乳幼児発達学科上田先生　月曜日３～６限6回使用

・乳幼児発達学科仁藤先生　金曜日３～６限3回使用

・乳幼児発達学科鈴木先生　ゼミ木曜日１～４限1回使用　12/12

・教育学科鈴木先生　卒研のアドバイス　10/9

③卒業研究サポート

・食品加工に関わる研究（9タイトル）についてサポート

・卒業研究審査会　1/11

④学園産農作物の加工方法の検討

・学内農場産

ブルーベリージャム加工

バニラの発酵方法やキュアリング方法

バジルの処理と加工試作

茶摘み，一次処理，紅茶発酵方法

バナナの一次処理および加工

ゆずにてはちみつ5種によるゆず茶での比較

カカオにて発酵方法

キウイフルーツの一次処理（実習用）

・南さつまキャンパス産

パッションフルーツのジャム加工

マンゴーの一次処理加工およびジャム加工

キミカンの皮でのパウンドケーキ試作

ホワイトポメロのクラッシュゼリー加工

柑橘類にて一次処理および加工

温州ミカンの一次処理およびチーズケーキ上層みかんゼリーや缶詰の検討

・弟子屈農場産

山ぶどうの一次処理および搾汁，加工処理

山ぶどうの果皮入りパウンドケーキ検討

・加工室産

レモンの砂糖漬けやハチミツ漬けの加工処理

⑤食品加工班

・各テーマ試作

・収穫祭：園芸班と展示相談

・収穫祭：準備（発表ポスター作成，展示品検討と作成，全体装飾）

・収穫祭：もち製造準備

・農学部向けクリスマス企画（大量製造）：1年生パンナコッタホワイトポメロゼリーのせ，2年生温州みかんゼリーのチーズケーキ



生産農学科理科教員養成プログラム「食品製造実習」①



食品加工班収穫祭⑤



K-12関連(小学部1年生)パッションフルーツソース作り⑥



近隣の中学校の職場体験⑨

秋セメスターの業務の様子（生産加工室）

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

・④の収穫物の一部は食品加工班と共に一次処理および加工検討を行った.

⑥K-12

・Primary5年生：小学部では家庭科の調理実習室がないため使用して実施　10/16，17，11/13，14
・Primary1年生：ゆり組の総合学習で育てたバジルとナスを使用したピザ　9/24，10/23
・Primary1年生：あやめ組の総合学習で育てたパッションフルーツをソースにしてヨーグルトシャーベットを作る（ハチミツも入れる）10/24
・Primary1年生すみれ組の総合学習で摘んだ桜の花塩漬けを使用したおにぎり作り　12/4
・Primary4年生：総合的学習で栽培したサツマイモをスライスとチップスの素揚げをした　11/28
・Primary2年生総合学習：「お米の学習」にてご飯とお味噌汁の実習（4クラス）の打ち合わせ　12/16

⑦購買部

・販売製品に関する監修（適宜）
・リニューアル製品の監修（適宜）
・新商品に関する監修（適宜）
・商品企画への監修とサポート

⑧女子駅伝チーム

・夕食提供のためチームと学食委託会社と打ち合わせ

および夕食確認（秋学期の毎月）
・第31回関東大学女子駅伝対校選手権大会　出場（結果9位/21校）10/5
・第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会　出場（結果15位/25校）10/27
・2024全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）　出場（結果16位/24校）12/30

⑨その他
・実習内容検討（試作中心）
・プレハブ冷蔵庫・冷凍庫の保守点検　9/26
・消防訓練　9/27
・空調機点検作業　10/1
・FD研修　10/27
・収穫祭（お餅作製）11/9
・玉川の集い　11/20
・芸術学部授業「さがまちバンバン」向け撮影協力　12/6
・農産研究センター会議　11/1，19，12/10，1/22
・製氷機修理　1/10，14
・ハラスメント研修　1/17
・食育健康サミット　セミナー聴講（12月中）
・施設外部の環境整備（適宜）
・施設内部の掃除（適宜）

表5　理プロでの食品製造実習の実習内容

分類	素材	製品	キーワード
果実類	キウイフルーツ	ジャム	ゲル化剤 瓶詰
乳製品	牛乳， 生クリーム	アイスクリーム	アイスクリーム製造の分類
乳製品	牛乳	カッテージチーズ	等電点沈殿
穀類	中力粉 強力粉	うどん， 中華麺	グルテン， かん水
果実	柑橘類	ゼリー	ゲル化剤，比較
卵	鶏卵	メレンゲ マヨネーズ プリン	起泡 乳化 凝固
畜肉	豚肉	フライシュケーゼ	食品添加物 タンパク質変性
魚介 海藻 きのこ類	かつお， こんぶ， しいたけ	だし	うまみ成分 相乗効果
食品添加物	調査発表	—	食品添加物調査

【春期休暇】
①先端食農学科「食品加工実習（集中・冬）」
・食品を扱う施設および食品工場を見立てた実習が含まれているため，食品衛生の学修を重視し，コロナ感染防止対策として行っていた表2のことを含めて継続して実施した．
・今年は降雪もなく，通常通りの日程で行った（2/4，5，6，7）
・実習内容は，表6の通りとし，各種測定も実施した．

②先端食農学科の担当している「先端食農実習」や「食品加工実習」の食品加工の授業内容の再検討や使用した商品の終売による材料検討をした．
・授業準備（資料作成，施設準備，材料準備）

③卒業・教員研究サポート
・小泉先生：凍結乾燥機，熱風乾燥機貸与

④南さつまキャンパス出張　2/12 ～ 15
・タンカン収穫研究および状況確認
・施設確認，市場調査

⑤弟子屈農場出張　3/16 ～ 19
・イタヤカエデ樹液採取の作業確認
・カルデラワイナリーの内部見学と打ち合わせ

⑥学園産農作物
・学内農場産
バニラの発酵処理後の製品にてパンナコッタを試作
・南さつまキャンパス産
ぽんかん，タンカン，きみかん，サワーポメロ，福原，ジャファ，ペラ等の柑橘類の一次処理
柑橘類の皮の処理と加工試作
タンカン分析内容
・弟子屈農場
カエデ樹液（メープル開発）で樹液を外部分析依頼
山ぶどうワイン試作品の配布

⑦食品加工班
・茶道部コラボ：タンカン果肉入りゼリーおよびタンカン羊羹の配合や工程の検討⇒茶道部と実際に製造⇒茶室でお茶の点て方と共に試食　3/12，3/14
・全体
チョコミントアイスのレクチャー



弟子屈農場カエデ樹液採取⑤



食品加工班（茶道部とコラボ）⑦



K–12関連（小学部2年生）ごはんとみそ汁⑧



食品加工実習（集中）①

春期休暇の業務の様子（生産加工室）

写真タイトルの右の（　）内には業務の実施時期と，業務の項目番号を示す

プリン，スポンジケーキとホイップ，アボカド，ゆず茶（はちみつ種類違い）

・1，2年
　各学年の次年度製作品の目標設定
　3年生：イノシシ焼売およびメープル製造検討焼売市場調査
　2年生：パイの実のようなパイ生地および学内産カカオからチョコレート検討，パイの市場調査
・新入生ガイダンスの紹介資料準備
・④の収穫物の一部は食品加工班と共に一次処理および加工検討を行った.

⑧K–12
・Primary2年生総合学習：「お米の学習」にてご飯とお味噌汁の実習（4クラス）2/27，28，3/4，5

⑨購買部
・販売製品に関する監修（適宜）
・リニューアル製品の監修（適宜）
・新商品に関する監修（適宜）
・商品企画への監修とサポート

⑩女子駅伝チーム
・新学期からの朔風館での夕食提供調整

⑪その他
- 来期の各実習の内容見直し検討（試作中心）
- 町田市立中学校キャリア教育推進事業：職場体験 1/24
- 点検（火災報知器，トイレ呼び出しボタン）2/28
- クリーンルーム床補修作業　3/6，7
- 小型高温高圧調理器（レトルト機）の故障点検 3/6
- FD研修：動画視聴
- 施設ワックス作業　3/21
- 施設内やクリーンルームの大掃除　適宜
- 施設内部の掃除　適宜
- 施設外部の環境整備　適宜

表6　食品加工実習（集中・冬）での実習内容

分類	素材	製品	キーワード
果実類	ポンカン	缶詰	酸アルカリ処理 保存
芋類	こんにゃく芋	こんにゃく	強アルカリ処理
穀類	薄力粉	スポンジケーキ	起泡 乳化剤
穀類	強力粉	パン	発酵 グルテン
畜肉	豚肉	焼売	代替肉
豆類	大豆		
香辛料	レトルト	レトルトカレー	加圧加熱殺菌 保存

【令和6年度職員】

技術指導員　勝又美紀
　　市村晴美
パート職員　諸熊摂子
担当教員　　冨田信一

7. サイテックファーム「LED農園」

渡邊博之

【概要】

サイテックファーム「LED農園」は，2012年10月より部分運用，2014年11月よりフル稼働でリーフレタスの生産を続けてきたが，運用開始より13年を超え，建物，栽培装置，栽培制御システムやソフトウエアなどの施設に経年劣化による痛みが激しくなった．2023年度は，衛生上の課題も解決する必要があり，1年をかけて大規模メンテナンス作業を進め，施設のオーバーホールを行った．2012年の部分運用開始より，本施設は西松建設株式会社との産学連携事業の一つとして進めてきており，施設の運用は西松建設の関係会社である株式会社サイテックファームに全面的に委託して行ってきた．しかし，2023年の年初からの野菜の生産停止にともない，株式会社サイテックファームの活動も2023年度途中（10月1日）から一旦停止することとなった．

その後，本施設の運用について，西松建設の担当者と農学部農産研究センターの担当者の間で協議を重ねた結果，2024年度からは，西松建設からの受託研究の形で資金援助を受けながら，農学部農産研究センターの施設として農学部の教職員が中心となって運用することとなった．

【受託研究の概要】

1　受託研究課題：新規作物の生産販売を中心として生産施設としての事業性の確立をめざした検討

2　運用組織
- 運用責任者（受託研究代表者）：渡邊博之（農学部教授）
- 施設オペレーション：関　茂（西松建設から出向）
- 栽培技術担当：泊由紀子（農学部　技術指導員）
- 水耕技術担当：島田明典（西松建設から出張）
- 栽培・生産作業：パート職員3名

3　受託研究費：総額2,350万円
内訳：一般管理費275万円（12％），パート職員人件費455万円（19％），電力費604万円，（26％），栽培材料・消耗品398万円（17％），保守修繕費618万円（26％）

4　成果

ケール，ルッコラ，ディル，小型フリルについて，栽培期間の短縮をはじめとする大幅なコストダウンと品質の向上につながる栽培環境制御技術の開発に成功した．

上記の受託研究に加え，アオシソ，バジル，パセリについて，新たな生産品目として，栽培条件のチューニングと収穫方法の効率化などの検討を進めた．また，レタスの主力商品であるプレミアムフリルとレッドファイヤー，グリーンリーフについても，本栽培14日を基本としたより効率的な栽培方法の開発に成功した．



学内試験販売：本部棟1Fでの販売



学内試験販売：農学部6号館1Fロビーでの販売



LED農園産レタスを使ったサラダ定食
（Cafeteria Sakufuにて）

サイテックファーム「LED農園」における業務の様子

【学内試験販売】（本部棟，大学6号館にて）

1　2024年7月10日～9月13日（週2回，計16回実施）
販売品目：プレミアムフリル，レッドファイヤー，ケール，ルッコラ，ディル，バジル，パセリ，アオシソ（計8種類）
販売数量，売上げ:合計2,285袋販売　総売上げ（税込）278,300円（教育成果物として学務課に計上）
スマホにてGoogle Formでアンケートを実施→その後の生産方針に反映

2　体育祭，コスモス祭での販売（購買部が販売するために出荷）
・2024年10月12日　体育祭 経塚オフィス前にてテント販売　出荷数量125個（完売）
・2024年11月9～10日　コスモス祭 サイテックファーム前にて販売　出荷数量912個（完売）
・販売品目:プレミアムフリル，レッドファイヤー，ケール，ルッコラ，ディル，バジル，パセリ，アオシソ（計8種類）

3　学内食堂と購買部売店での販売（全て購買部を通した販売）
・グリーンハウスによる学内食堂での販売
2024年9月23日より年度末まで実施
販売品目，数量，単価，売上げ：フリルレタス，
毎日3–4kg，合計212 kg，税込648円/kg，売上げ合計（税込）137,376円

・購買部での販売–Ⅰ期
9月18日から11月29日まで実施

対象品種：プレミアムフリル，レッドファイヤー，グリーンリーフ
・購買部での販売−Ⅱ期
12月3日〜年度末まで実施
対象品種：プレミアムフリル，レッドファイヤー，グリーンリーフ，フリルレタス，ケール，ルッコラ，ディル，バジル，パセリ，アオシソ
・総出荷数量（上記のⅠ期とⅡ期を合わせて）：3773袋
・その他の出荷
総務･秘書課からの依頼対応，見学者へのお土産対応：合わせて497袋

【授業対応】
・農学部「先端食農実習」授業の閉鎖循環型農業の植物工場実習（春学期，12回）
・農学部「専門領域研究A」（春学期，3回）
・農学部「専門領域研究B（秋学期，3回）
・農学部「先端食農演習」（春学期15回，秋学期15回）
・芸術学部「小北ゼミ」での実習，施設見学（春学期，1回）
・芸術学部「小北ゼミ」でパッケージ用シール案を作成（春学期）

【施設見学案内】
・米ウィルクス大学（10月）
・東京農業大学（10月）
・コスモス祭での一般公開（11月）
・東京都立農業高等学校（11月）
・JA東京中央（11月）
・米ハーカー校（11月）
・K−12親学講座（12月に2回）
・K−12海外提携校（1月）

【取材・広報】
・産経新聞（5月）
・日本経済新聞（5月）
・朝日新聞（12月）
・タウンニュース（11月，2月）
・河合塾（2月）

【令和6年度職員】
技術指導員　泊由紀子
出向職員　　関茂（西松建設）
担当教員　　渡邊博之

8. アクア・アグリステーション（閉鎖循環型陸上養殖施設）

渡邊博之・山﨑　旬

【概要】
2016年に開設した閉鎖循環型陸上養殖施設「アクア・アグリステーション」は，開設9年目をむかえた．人工海水を循環させる濾過システムから，飼育槽，循環浄化系に老朽化も目立つようになってきており，2024年度は，海水冷却用熱交換器および水質浄化（オゾン処理）のための泡沫分離装置の更新を行った．施設運営については，前年度に引き続き，株式会社環境技術センターに維持管理業務を委託し，主にアワビの陸上養殖を行った．また，2024年度は，アワビ以外の魚類の試験養殖も視野に入れた施設改造も視野に入れ，検討を開始した．

【授業対応】
先端食農学科2年生の必修授業「先端食農実習」でアクア・アグリステーションを利用した陸上養殖実習を行った（4/30 〜 7/5　計6回）．また，先端食農学科4年生の卒業研究の題材として本施設および養殖アワビを利用して実験を行った．

【教育成果物の販売】
夏期に加賀料理大志満の「お節重詰め」の具材として，活アワビ（約2000個）を「玉川の丘あわび」として出荷した（おせち用出荷は重量40g前後で殻長7cm程度のもの）．

【訪問・取材対応】
・2024年4月6日　秋篠宮皇嗣殿下，悠仁親王殿下
・2024年5月9日　荏原実業株式会社　4名
・2024年6月6日　北里大学　海洋生命科学部　森山俊介教授
・2024年6月18日　海遊館（大阪市）2名
・2024年6月19日　株式会社ミツワ・クリエイト　齋藤氏
・2024年11月29日　旭化成株式会社，株式会社FRDジャパン　3名
・2024年12月13日　テレビ東京　アド街ック天国　収録（放映日：2025年1月25日）
・2024年12月16日　東京電力HD株式会社　古田岳志氏
・2025年1月27日　株式会社栗本鐵工所　櫻井信一氏，正木秀樹氏